

2022年12月6日

各位

北海道ベンチャーキャピタル 株式会社
代表取締役 浦田 祥範
Tel 011-738-7380
(問合せ先 田中)

多言語コミュニケーションツールの提供により

「言葉のカベ」の社会課題解消に取り組む

Kotozna 株式会社 に約 30 百万円を投資

弊社は、2022年11月30日付で Kotozna 株式会社（本社：東京都港区、代表者：後藤 玄利）に、「北海道グロース1号ファンド」^{※1}から約30百万円を投資しましたので、お知らせいたします。

同社は、「言葉のカベ」の社会課題を解消するために、109言語に対応した精度高い翻訳システムをこれまで開発してきており、宿泊事業者向けの多言語翻訳チャットツール「Kotozna In-room」^{※2}（コトツナ イン ルーム）や、全事業者向けの多言語問合せチャットツール「Kotozna laMondo」^{※3}（コトツナ ラモンド）といった事業を中心に、言語に依存しないコミュニケーションツールの提供を国内外で行っております。

特に「Kotozna In-room」では、宿泊者と宿泊施設スタッフのスムーズなコミュニケーションを可能にするほか、人手不足やソーシャルディスタンスなど、宿泊業界を取巻くコロナ禍の課題に有効と国内外で評価を得ております。国内では、約250施設^{※4}（うち、道内約30施設）の導入実績があり、大手旅行会社である株式会社 JTB との協働により、導入先数の拡大や機能の拡充を図っております。また海外では、シンガポール政府観光局主催のアクセラレータープログラムに日本企業として初めて選出され、既に同国で実証実験を行っております。

これら取り組みは、ホテル・旅館などの宿泊施設のDX化に資し、観光旅行の充実および地域経済活性化を促すものであり、観光旅行需要が大きい北海道への経済寄与が高いと判断し、投資を行いました。

※1 弊社HP「[北海道グロース1号ファンド](#)」組成について 参照。

※2 宿泊者が自身の端末などで部屋置き二次元バーコードを読み込むことで、オンライン上で宿泊施設スタッフとチャット（多言語リアルタイム翻訳）ができるほか、施設・周辺情報などを閲覧することが可能。

※3 事業者ウェブサイトに掲載する問合せチャット窓口（多言語リアルタイム翻訳）。

※4 2022年10月末時点。

【Kotozna 株式会社 企業概要】

本社所在地 東京都港区元赤坂 1-7-20 メットライフ元赤坂ウエスト 1F

代表者 代表取締役 CEO 後藤 玄利

設立年月日 2016年10月7日

事業内容 多言語コミュニケーションツールに関わるサービスの提供

URL <https://kotozna.com/>

【該当する SDGs の目標】



以上